



平成19年4月27日

国土交通省道路局長様

群馬県邑楽郡

大泉町長 長谷川 洋



道路整備等の中期的な計画作成にあたっての意見について（回答）

標題の件について下記、別紙のとおり、意見・要望書を提出いたしますので、宜しくお願ひ致します。

なお、当該要望内容につきましては、本町のみならず埼玉県、群馬県、栃木県にまたがる周辺地域全体の活性化等に多大な効果と影響を与える事業計画(案)でございますので、貴職におかれましては、何卒、実現化に向けて格別なるご指導とご高配を賜りますよう重ねてお願ひ申しあげます。

## 道路整備等の中期的な計画の作成にあたっての意見

群馬県邑楽郡  
大泉町長 長谷川 洋

### 1. 重点化を進める上で、特に優先度の高い政策について

中期的な道路政策を策定する際には、貴重な道路特定財源を有効、かつ効果的に活用する観点から、まずは地域住民のニーズに即した事業であり、真に必要な道路に限定し、重点化、効率化に努めながら早急に取組みすることが重要であると認識いたしております。

とりわけ、首都圏内における着手中の高速道路の全線開通と幹線道路と高速道路を結ぶアクセス道路や環状道路等の整備は、モビリティーの向上や空港、港湾等への物流ルートを確保するため、緊急な整備が求められております。首都圏内に位置する本町始め周辺市町では、地域の自立と競争力の強化等を担う北関東自動車道や主要幹線道路等の早期完成を待ち望んでおります。

#### 「具体的な要望事項」

①埼玉県、群馬県、栃木県を結ぶ地域連携の幹線道路網の整備に係る利根川新橋の新設整備について

※利根川新橋及び(仮称)両毛中央幹線、(仮称)熊谷妻沼南北線の新設整備 [別紙に位置図の参考図面添付]

標題の地域連携の幹線道路網等の整備は、利根川に新橋を設置し、埼玉県熊谷市内の国道17号バイパスと群馬県内の本町周辺地域を東西に貫く幹線道路の国道354号、東毛広域幹線道路、122号を縦断し、栃木県足利市内の国道50号のバイパスを結ぶ路線で、さらには北関東自動車道(仮称)太田インター及び足利インター・チェンジへとアクセスする重要な地域連携の幹線道路網の整備に係る計画です。

これらの計画の前提として、埼玉県熊谷市と群馬県千代田町の間の県境を流れる利根川への新たな橋の架設が必須の要件であり、これらの実現化を図るため、熊谷市、千代田町を始めとする沿線地域のすべての市町村で新橋建設促進期成同盟会を設立し、これまで永年にわたり、当該地域の最重要課題として、貴省を始め関係機関等へ新橋整備の働きかけを進めてきた経緯にあります。

新橋の整備は、地域連携幹線道路網の構築のみならず、現在、熊谷市

と太田市・大泉町の国道407号線を結ぶ利根川に架かる既設の刀水橋が、朝夕の通勤時間帯時には慢性的な渋滞を引き起こし、新橋の新設が周辺地域共通の喫緊の課題となっています。

こうした状況下にあるため、これまで貴省並びにご両県のご尽力をいただき新橋整備に係る調査費の予算措置をお願いした経緯にあります  
が、誠に残念ながら、具体的な進展まであと一步の状況下にあります。

ご案内のとおり、北関東自動車道の整備が進み伊勢崎市と太田市間の開通が来年の9月に予定される中で、3県を結ぶ地域連携の幹線道路網の整備・実現は、関東内陸部に位置し、工業団地が集積した私ども市町の地域発展にとって不可欠な条件であります。

つきましては、利根川新橋の新設と地域連携の幹線道路網の整備は、私どもの地域振興の基盤を支える「真に必要な道路」でございますので、中期計画に是非とも位置付けを賜りますよう格別なるご高配をお願い申しあげます。

## ②群馬県東毛広域幹線道路（邑楽大泉工区）等の整備・推進について

○国土交通省 道路局所管 [実際の事業実施主体は、群馬県で担当部署は、館林土木事務所] ※別紙に位置図の参考図面添付

標題の広域幹線道路は、高崎駅東口を起点とし、東北自動車館林インターを経て、板倉町へ至る、県内東西を結ぶ重要な幹線道路であります。

これまで当該道路の整備は、県内沿線を管轄する土木事務所において、銳意、施工いただいており、全体的には概ね順調に推移いたしております。しかしながら、当該邑楽大泉工区は、いまだ用地買収等が未着手で整備路線の中でも、一番遅延している施工箇所となっております。

当該工区内は、国道122号へのアクセス道路部分が含まれた要衝の場所で、国道50号、北関東自動車道へと至る連携箇所であり、かつ、利根川新橋が整備された暁には、3県を幹線で結ぶ重要な広域連携道路であります。

当該事業は、現在、群馬県が整備施工中の事業ですが、正に貴省の中長期的な計画に関連して位置付けられるべき幹線道路でありますので、当該工区内の一刻も早い整備と国道122号へのアクセス道路の早期着手を併せて宜しくお願い申しあげます。

③首都圏内の地方主要道路(国道 354 号、国道 122 号、国道 407 号等)  
の維持・管理体制の強化について

○群馬県の県土整備局が所管、実際の担当部署は、所轄の土木事務所  
※別紙に位置図の参考図面添付

本町の周辺地域（1市3町）は、県下有数の工業地帯で工業製品出荷額等が3兆1,142億を超える、県全体に占める割合が、前橋市と高崎市合せた数値(15 パーセント)を遙かに上回る40パーセント強となっております。

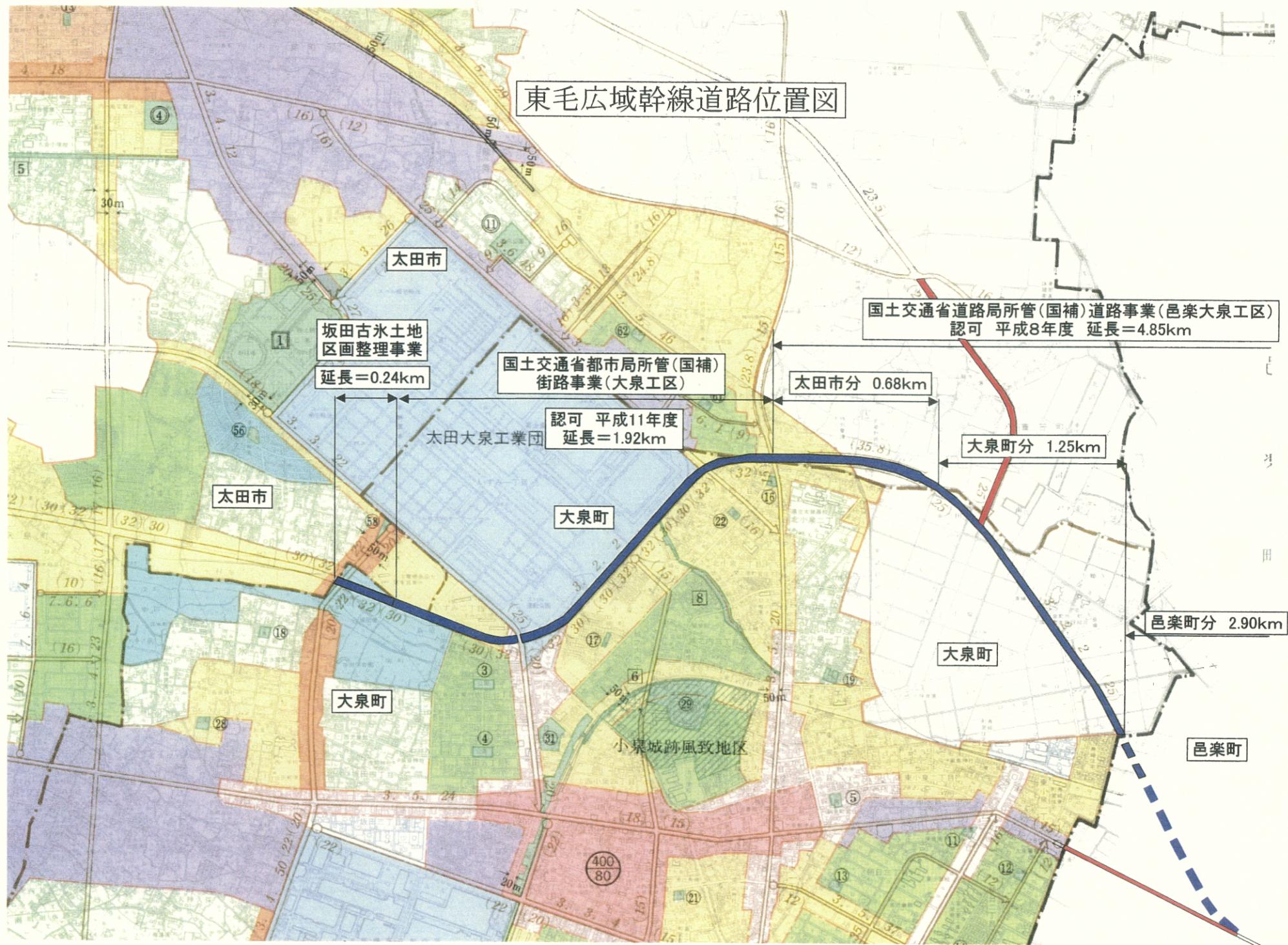
しかしながら、内陸部に位置する私どもの地域は、鉄道交通機関が未発達で、工業製品等の輸送や日常の通勤、買い物などの移動手段は、すべて車に依存せざるを得ない状況にあるため、一世帯当たりの車の保有台数が2台を超え、全国一の保有率となっております。

こうした当該地域の特殊事情を反映し、標題の主要道路を始め周辺道路(県道等)は、非常に通行量が多く、慢性的な渋滞が発生する道路であります。

さらに大型車両の通行により、路面等が短期間で轍や亀裂などの著しい劣化が生じる道路であります。

つきましては、首都圏内の当該主要道路（国道、周辺の県道含む）の定期的な維持・管理におきましても、「真に必要な道路」と同様、「最重点路線」として位置付けし、他の利用頻度等の少ない幹線道路と区分し、当該道路の適正な維持・管理ができるよう中期計画の中に強化施策等を盛り込むよう特段なるご配意をお願いいたします。

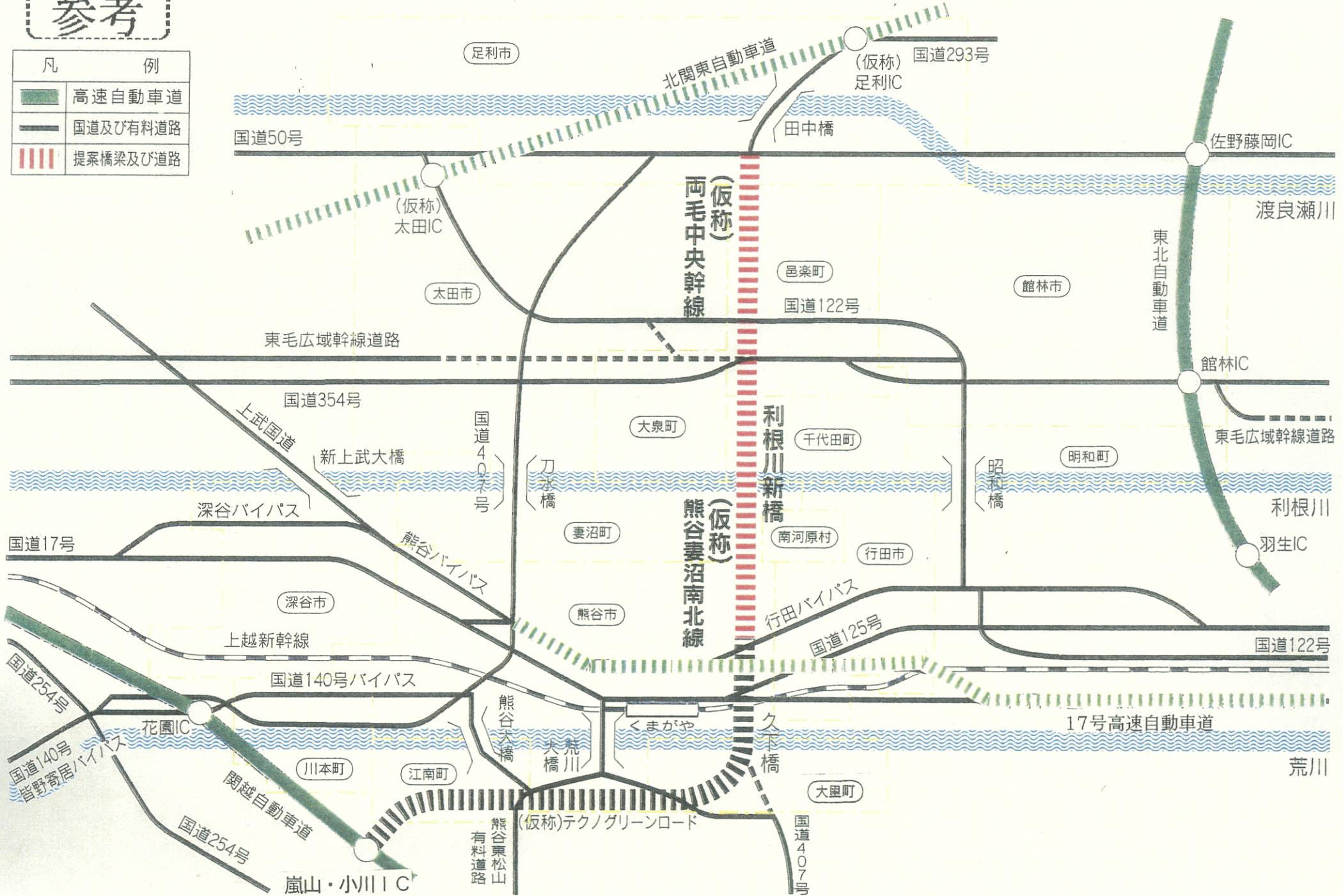
## 東毛広域幹線道路位置図



# 利根川新橋及び（仮称）両毛中央幹線、（仮称）熊谷妻沼南北線構想図

参考

| 凡 例 |          |
|-----|----------|
|     | 高速自動車道   |
|     | 国道及び有料道路 |
|     | 提案橋梁及び道路 |



# 群馬・埼玉地域連携道路網検討 概略図

